

科目名	社会的養護内容						
	【保育士必修】						
授業形態	演習	学年	1年	開講時期	前期	単位数	1単位
担当教員	鈴木 勲						

内容および計画	社会的養護下にある子どもへの援助及び具体的な支援方法と内容に関する知識を深め、保育者としての資質を高めていくことを目的とする。なお、本科目では、専門職に求められる倫理と専門性、子ども虐待、社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術などをキーワードに授業を展開していく。
1	ガイダンス 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。
2	子どもの社会的養護の基本的な考え方 子どもの社会的養護の理念と概念について学ぶ。
3	子どもの社会的養護の歴史と概要 日本及び欧米の児童福祉観の変遷について理解する。
4	施設における子どもの社会的養護 施設養護の特質と機能、基本原理について学ぶ。
5	児童福祉施設の運営・管理と援助者 施設の管理・運営について学ぶ。
6	施設養護の職員 施設専門職の役割や他職種とのチームワークについて学ぶ。
7	施設養護における基本的な援助技術 施設養護における基礎的な援助技術を理解する。
8	社会的養護の実際 施設での日常生活を理解する。
9	社会的養護における支援の計画と内容及び事例分析 個別支援計画の作成方法と事例分析を行う。
10	虐待問題と児童養護 児童虐待の現状と対応について学ぶ。
11	今後の課題と展望 社会的養護の課題と展望について理解する。
12	養護施設の実践紹介 さまざまな施設とそこで行われている実践例を紹介する。
13	職場の運営・業務、会議、組織的な仕事の進め方 児童福祉施設の管理運営方法を理解する。
14	福祉施設実習に向けて 児童福祉施設での実習の目的と実習に向けての基本的な事項を学ぶ。
15	授業のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明もを行う。

教科書	教科書の指定は特にしない。必要な資料は授業時に毎回配布する。
-----	--------------------------------

参考書	浅井春夫編著『児童福祉施設・児童相談所・学校 子どもの暴力対応実践マニュアル』建帛社 2011年ISBN (9784767932965) その他の文献については、随時、授業中に紹介する。
-----	---

成績評価	評価方法	割合
	学期末のレポート	40%
	リアクションペーパーへの記述状況	60%
全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。		

学習到達目標	1.社会的養護問題の発生とその背景を理解する。 2.社会的養護の役割と基本的な援助技術を理解する。 3.社会的養護の基本的な原理原則を理解する。
--------	--

先修条件	特になし。
------	-------

その他	社会的養護に関する今日的な課題について、普段から新聞や文献に目を向け、何らかの問題意識を持って受講すること。授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合もある。
-----	--